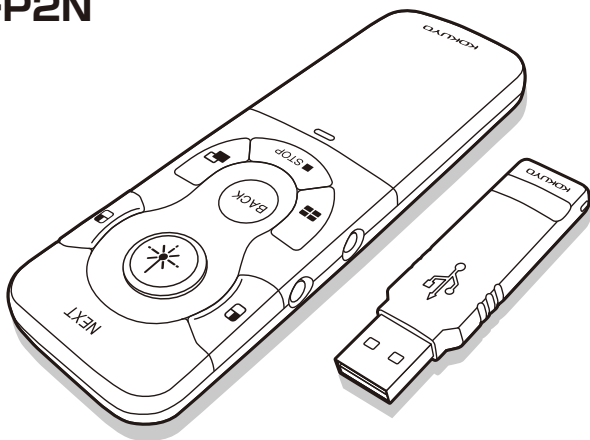


取扱説明書

PCプレゼンポインター
〈エアビーム・マウス〉

ELA-P2N



この取扱説明書は、この製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。
ご使用前に、よくお読みの上、正しくお使いください。
また、この製品を未永くご使用いただくために、この取扱説明書は大切に保管してください。

お客様へお願いとお断り

- 本製品添付の保証書に使用許諾契約書が付いています。ご使用前に必ずお読みください。
- 本書の内容は、③ページの「使用できるパソコンの機種と必要装備」を満たしており、それらを使用する上での基本操作・用語について理解されていることを前提に記載しております。
基本操作・用語についてご不明な点は、ご使用のパソコンの取扱説明書などをご覧ください。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。TM、®、©などのマークは記載しておりません。
- 本書の内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することはお断りいたします。
- 本製品のご使用により発生した損害に対しては、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。本製品をパソコンに接続する前に、パソコン内のデータについて必ずバックアップをお取りくださいますようお願いいたします。
- 本製品を廃棄される時は、廃棄する地域の条例や法令に従って行ってください。

※Microsoft Windows、Microsoft PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国で登録されている登録商標です。Mac OS、Keynoteは、米国および他の国で登録されているApple inc.の商標です。その他、記載の会社名および商品名は、すべて各社の登録商標です。

ユーザー登録

お客様の貴重なお声を、今後の商品開発・販売両面に反映させていただきますので、下記ホームページにてユーザー登録およびアンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。
< エアビーム > ホームページ <http://www.kokuyo-st.co.jp/stationery/pcp/>

特長

- ポイントの「色」「形状」「サイズ」を手軽に変えられます。
- 「レーザー光」ではないので、子供がいる場や授業でも安心して使用できます。
- 液晶モニター・透過型スクリーンなどでもきれいにポイント箇所が見えます。
- パソコンへのソフトウェアのインストールが不要です。
※Macで「設定モードの保存」機能をご使用いただくには、ドライバのインストールが必要です。
- ジャイロセンサーマウスとしても使用できます。マウスの左右クリック、動画再生ボタン、アプリケーション切替ボタン、スライド一覧表示ボタンなどを搭載しているので、プレゼン中のあらゆる操作を手元で行えます。

安全上のご注意

⚠ 警告

- 電波を使用しており、電子機器や医療機器（例えば心臓ペースメーカー）などに影響を及ぼすおそれがありますので、航空機内や病院など使用を禁止されている所では使用しないでください。

⚠ 注意

- 本製品は、電波を使用しています。外部から同様の電波を受けた時、まれに誤動作する場合があります。重大な影響を及ぼすおそれのある機器では使用しないでください。
- 以下の内容を守らないと、ショート・発火・けが・故障・破損の原因になります。
 - ・本製品を高い場所から落としたり、強い衝撃を加えるなど、乱暴に取り扱わないでください。
 - ・水がかかるおそれのある所では使用しないでください。
 - ・本製品の分解や改造はしないでください。
 - ・ボタンを強い力で無理に押さないでください。
 - ・お子様の手の届かない所に保管してください。
 - ・アルカリ乾電池以外は使用しないでください。故障の原因になります。
- 電池は、以下の内容を守らないと、液れによる周囲の汚損や破裂による火災・けがの原因になります。
 - ・電池または電池のパッケージに記載されている注意事項を守り、正しくお使いください。
 - ・分解したり、ショートさせないでください。
 - ・加熱したり、火の中に投入しないでください。
 - ・種類の違う電池や古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
 - ・電池をセットする時は、⊕⊖を間違えないように正しく行ってください。
 - ・消耗した電池は、早めに交換してください。
 - ・長時間使用しない時は、電池を本体から抜いてください。
 - ・付属の電池は動作確認用です。開梱時に電池が消耗している場合がありますので、早めに新しい電池に交換してください。

末永くご使用いただくためのご注意

- 本製品は室内または屋内用です。湿気やホコリの多い場所、極端な温度条件下や急激な温度変化がある場所でのご使用や保管はしないでください。故障や動作不良の原因になります。
- 本製品の近くに、ディスプレイなど電波に干渉する機器や携帯電話など電波を発信する機器、金属板などの信号をさえぎるものがないようにしてください。故障や動作不良の原因になります。
- 受信器の取り付け、取りはずしの際には、金属製のものに触れて静電気を除去してから作業を行ってください。静電気による故障や動作不良が起こるおそれがあります。

使用できるパソコンの機種と必要装備

- 対応機種…以下の対応OSを標準インストールしたパソコン
 - 対応OS…日本語Windows Vista/7/8/8.1/10、日本語Mac OS 10.5/10.6/10.7/10.8/10.9/10.10/10.11/10.12 (intel社製プロセッサ搭載のMac)
 - 対応ソフト…Windows : Microsoft PowerPoint 2003/2007/2010/2013/2016
Mac : 2008/2011/2016
Keynote 4('08)/5('09)/6/7
 - 必要装備…USBポート
 - インターフェイス…USB Ver1.1以上
- ※以上の条件を満たしたパソコンでのみ動作します。
※お使いのパソコンの性能や環境によりポインターの反応が遅くなる場合があります。

最新のOS、ソフト対応状況は下記ホームページにてご確認ください。

<http://www.kokuyo-st.co.jp/stationery/lp/>

梱包内容

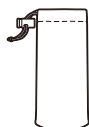
この製品のパッケージに以下のものが入っていることをご確認ください。



本体



受信器



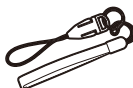
保管用ポーチ



お試し用電池
単4形アルカリ乾電池
1.5V…2本



取扱説明書



ストラップ



保証書



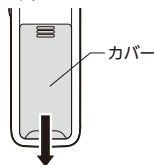
エアビーム・マウスの
使い方

電池の確認

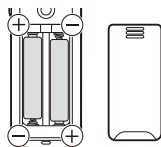
電池を入れる前に 本製品で使用できる電池は、単4形アルカリ乾電池です。
※単4形ニッケル水素電池を使用した場合、使用時間が短くなります。

電池のセットのしかた

- ① 本体裏側のカバーを下側に引いて外します。
- ② 本体に電池の \oplus/\ominus を確認しながらセットしてください。
- ③ 電池をセットしたら、カバーをきちんと閉めてください。



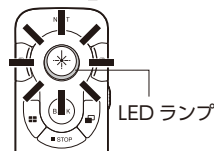
カバー



電池の交換時期 LEDランプが点滅したら、電池の交換時期です。
早めに交換してください。

注意

- \oplus/\ominus を間違えますと、故障の原因になります。
- 必ず2本とも新しい電池に交換してください。個々で交換すると、液もれの原因になります。



LED ランプ

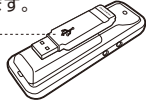
各部の名前とはたらき

本体

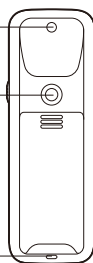
- 1 NEXT ボタン**
マウス左ボタン(☶)
- 2 BACK ボタン**
スライド一覧表示切替ボタン(☳)
Alt+V+D
パワーポイントのスライドを一覧表示します。
※Keynote 非対応
- マウス右ボタン(☷)
- 電源スイッチ 電源の ON/OFF に使用します。
- LEDランプ (青色)
・電源 ON 時に約 5 秒間、点灯します。
・ポインター操作時に点灯します。
・電池残量が少なくなると点滅します。
- BLACK OUT ボタン(☒)
- マウス・ポインター切替ボタン(☑STOP)
- スライドカバー
- ポインター操作ボタン
ボタンを押してポインターを操作します。ダブルクリックでポインター位置を固定(ポインターは点滅)します。

ID 設定ボタン
ID 設定に使用します。

ホック
受信器の収納に使用します。



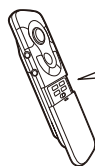
ストラップ穴



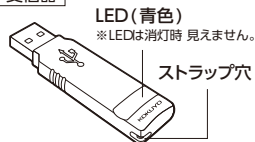
メディアプレーヤー起動ボタン(☰)
パワーポイントを操作中、メディアプレーヤーを起動します。

アプリケーション切替ボタン(☰)
Windows : Alt+Tab
Mac : ⌘+Tab

スライドカバーオープン時



受信器



ポインター設定変更

- 1 NEXT ボタン**
3・4・6 の設定の逆戻しに使用します。
5 を順送りして、サイズの最大で止まります。
- 2 BACK ボタン**
3・4・6 の設定の逆戻しに使用します。
5 を逆戻して、サイズの最小で止まります。
- 3 色ボタン (色・透過変更ボタン)**
色の設定に使用します(スポットライト含む)。
設定を順送りします。
- 4 形状ボタン (形状変更ボタン)**
形の設定に使用します。設定を順送りします。
- ■ ★ ◀ ▶ ☞ など
- 5 サイズボタン (大きさ変更ボタン)**
大きさの設定に使用します。設定を順送りします。
- 6 指示線ボタン (指示線表示変更ボタン)**
指示線の有無と表示基点の切替に使用します。
-

受信器を接続する



受信器を接続する前に、必ずパソコン内のデータのバックアップを取ってから行ってください。

[Windows Vista/7/8/8.1/10の場合]

① パソコンの電源を入れて、パソコンが起動したことを確認してください。

② パソコンのUSBポートに、受信器のコネクタを接続してください。

※USBポートの場所は、パソコンによって異なります。

③ パソコンのタスクバーにデバイスアイコンが表示されます。

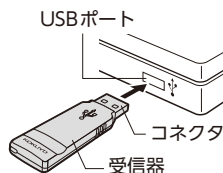
※初回のみパソコンの再起動が必要な場合がありますので、パソコンの指示に従ってください。再起動後に受信器を差し直してください。



タスクバー

④ ポインター操作のアプリケーションが自動的に起動して、

タスクバーにAIR BEAMのアイコンが表示されます。



パソコンのUSBポートに形状を合わせて差し込む

セキュリティ・情報漏えい対策などのため自動再生(オートラン)が無効になっている場合(*)がありますので、以下の手順でアプリケーションを起動してください。

(※Windows OS、セキュリティソフト、会社・個人独自の設定により起動制限している)

- Windows 8.1/10の場合・・・ [PC]から[AIR BEAM]を選択して、その中の[AirBeam]をダブルクリックしてください。
- Windows 7/8の場合・・・ [コンピューター]から[AIR BEAM]を選択して、その中の[AirBeam]をダブルクリックしてください。
- Windows Vistaの場合・・・ [コンピューター]から[AIR BEAM]を選択して、その中の[AirBeam.exe]をダブルクリックしてください。

[Mac OS X(10.5以降)の場合]

① Macの電源を入れて、起動したことを確認してください。

② USBポートに受信器のコネクタを接続してください。

※ [キーボード設定アシスタント]が開く場合は閉じてください。

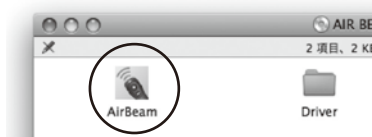
※USBポートの場所は、機種によって異なります。

③ [AirBeam]をダブルクリックします。

メニューバーにAIR BEAMのアイコンが表示され、AIR BEAMが使用可能になります。



メニューバー



マルチモニターでの切り替え

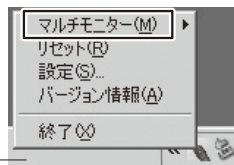
表示領域の拡大を目的としてパソコンに複数のモニター(ディスプレイ)を接続して使用する場合(マルチモニター)、スポットライト(色設定)や指示線を表示できない場合があります。

以下の方法でモニターを選択してください。

[Windows Vista/7/8/8.1/10の場合]

タスクバーのAIR BEAMアイコンのメニューにて表示したいモニターを選択してください。

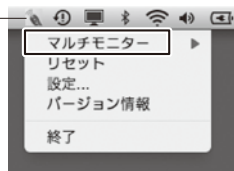
タスクバー



[Mac OS X(10.5以降の場合)]

メニューバーのAIR BEAMアイコンのメニューにて表示したいモニターを選択してください。

メニューバー



※本製品をTV会議システム等で使用される場合は、TV会議システム等の仕様において画面共有の設定ができることをご確認の上、ご使用ください。

使いかた

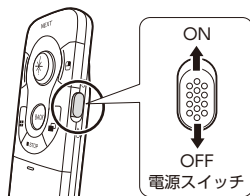
使用OSの設定

本体スライドカバー内の Windows / Mac 切替スイッチで使用 OS を設定してください。



電源のON/OFF

- 電源ON … 電源スイッチを ON にします。LED ランプが約 5 秒間点灯します。すべてのボタンが使用可能になります。
 - 電源OFF … 電源スイッチを OFF にします。すべてのボタンが使用できなくなります。
- ※使用しない時は電源を OFF にしてください。
※長時間使用しない時は、電池を本体から抜いてください。



ポインターの設定方法

初期設定では、色：黄緑、形状：丸(不透過)、サイズ：約 42 ピクセル、指示線なしです。④ページのポインター設定変更にて、お好みの色、形状、サイズ、指示線を設定することができます。

ポインターの表示のしかた

本体先頭をカーソルの方に向けポインター操作ボタンを押してください。ポインター操作時に点灯します。

※ポインターが表示されない時は、ポインター操作用のアプリケーションが起動していることを確認してください。⑤ページの「受信器を接続をする」を参照してください。

※ポインターが勝手に移動する場合は、机などに静置した状態で一度電源スイッチを OFF にし再度 ON にしてください。その後、ポインター操作ボタンを押してください。(キャリブレーション設定)

※本体を極端に傾けて上下左右に操作すると、正常に動作しない場合があります。

ポインター操作ボタン



△注意 ボタンを無理に押さないでください。故障の原因になります。

マウスの操作

●カーソルの移動

ポインター操作ボタンを押しながらポイントを移動させ、離すとカーソルに切り替わります。

※マウス・ポインター切替ボタン(■STOP)を押すと、ポイントからカーソルに切り替わりポインター操作ボタンを押さなくてもカーソルを移動させることができます。再度、マウス・ポインター切替ボタンか、ポインター操作ボタンを押すと、カーソルの移動は固定に戻ります。

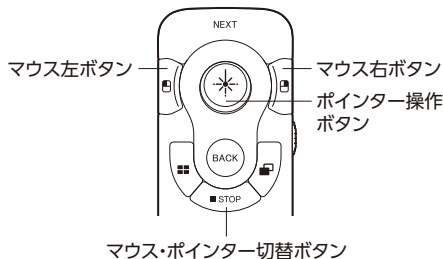


●左クリック機能

マウス左ボタンをクリックしてください。

●右クリック機能

マウス右ボタンをクリックしてください。



メディアプレーヤーの操作

パワーポイントを操作中、メディアプレーヤーを起動します。

※バックグラウンドで開いている動画ファイルを優先して表示します。

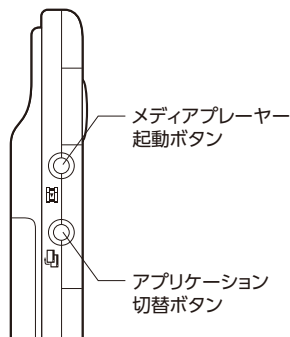
※Mac OS では、iTunes を起動します。

アプリケーションの切替

アプリケーション切替ボタンを押すごとに、バックグラウンドで立ち上げているアプリケーションを切替することができます。



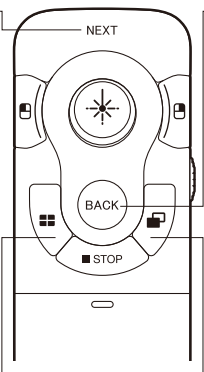




Windows: + (キーボード[alt]+[Tab]と同じ)

Mac: + (キーボード[⌘]+[Tab]と同じ)





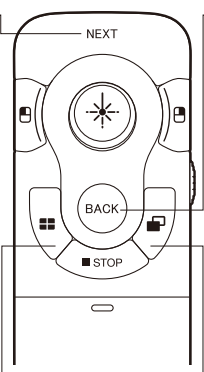






パワーポイントの操作 パワーポイントを起動している時に、以下の操作が行えます。

[Windows Vista/7/8/8.1/10の場合]

NEXTボタン スライドショーの実行 ・ボタンを約2秒間長押しする  (キーボード「F5」と同じ) ページを送る ・ボタンを押す(スライドショー実行中)  (キーボード「PgDn」と同じ) ポインターを中央に移動 ・ボタンを押す		BACKボタン スライドショーの終了 ・ボタンを約2秒間長押しする  (キーボード「Esc」と同じ) ページを戻す ・ボタンを押す(スライドショー実行中)  (キーボード「PgUp」と同じ) ポインターを中央に移動 ・ボタンを押す
スライダー一覧表示ボタン ・ボタンを押す(「標準表示画面  」表示中) スライダー一覧  を表示		BLACK OUTボタン スライドショー実行中にスライドを黒くします。

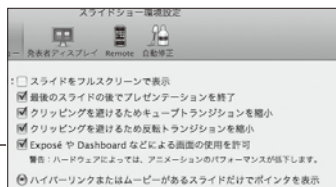
[Mac OS X(10.5以降の場合)] ※PowerPoint 2008 for Macではスライドショーの実行はできません。

NEXTボタン スライドショーの実行 ・ボタンを約2秒間長押しする    (キーボード「[shift]」、「[command]」、「[return]」と同じ) ページを送る ・ボタンを押す(スライドショー実行中)  (キーボード「▼」と同じ) ポインターを中央に移動 ・ボタンを押す		BACKボタン スライドショーの終了 ・ボタンを約2秒間長押しする  (キーボード「esc」と同じ) ページを戻す ・ボタンを押す(スライドショー実行中)  (キーボード「▲」と同じ) ポインターを中央に移動 ・ボタンを押す
スライダー一覧表示ボタン ・ボタンを押す(「標準表示画面  」表示中) スライダー一覧  を表示		BLACK OUTボタン スライドショー実行中にスライドを黒くします。



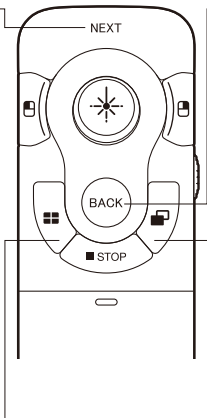


Keynoteの操作 Keynoteを起動している時に、以下の操作が行えます。

注意 Keynote上の再生画面でAIR BEAMの操作をする場合は、以下の設定が必要です。設定を行わないとポインタが表示されません。

Keynoteの環境設定を開き、「スライドショー環境設定」の [ExposeやDashbordなどによる画面の使用を許可] にチェックを入れます。



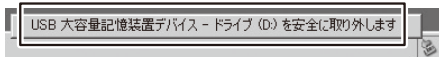
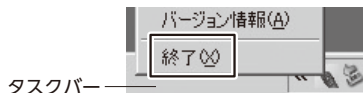
【Mac OS X(10.5以降の場合)】 ※Keynote では、スライドショーの再生はできません。

<p>NEXT ボタン</p> <p>スライドショーの再生</p>  <p>ページを送る</p> <ul style="list-style-type: none">ボタンを押す(スライドショー再生中) <p> (キーボード「▼」と同じ)</p> <p>ポインタを中央に移動</p> <ul style="list-style-type: none">ボタンを押す		<p>BACK ボタン</p> <p>スライドショーの終了</p> <ul style="list-style-type: none">ボタンを約2秒間長押しする <p> (キーボード「esc」と同じ)</p> <p>ページを戻す</p> <ul style="list-style-type: none">ボタンを押す(スライドショー再生中) <p> (キーボード「▲」と同じ)</p> <p>ポインタを中央に移動</p> <ul style="list-style-type: none">ボタンを押す
<p>スライド一覧表示ボタン</p> <ul style="list-style-type: none">ボタンを押す(スライドショー再生中) <p>Keynoteの再生中「スライド移動画面」を表示。</p>	<p>BLACK OUT ボタン</p> <p>スライドショー再生中にスライドを黒くします。</p>	

終了のしかた

【Windows Vista/7/8/8.1/10の場合】

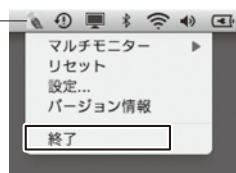
本体の電源を OFF にします。パソコンのタスクバーの AIR BEAM アイコンを右クリックして「終了」を選びます。同様にデバイスアイコンを右クリックして「USB 大容量記憶装置デバイスを安全に取り外します」を選びます。



【Mac OS X(10.5以降の場合)】

- 1 本体の電源を OFF にします。
- 2 メニューバーの AIR BEAM のアイコンから「終了」を選びます。
- 3 デスクトップの AIR BEAM をゴミ箱にドラッグしてください。

メニューバー



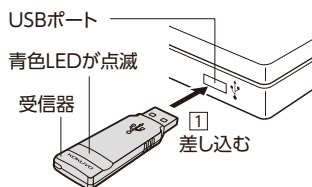
AIR BEAM

- 4 受信器を USB ポートから外してください。

ID設定

出荷時に製品ごとに ID 設定しているため、設定は不要ですが、正常に動作しない場合は、下記の手順に従って ID 設定を行ってください。

- 1 受信器を USB ポートに接続したまま本体を受信器に近づけ(約10cm以内)、本体の ID 設定ボタンを押してください。ID 設定が完了すると、受信器の LED が点滅します。
- 2 LED の点滅が消灯し、ID 設定が完了します。これで操作が可能になります。

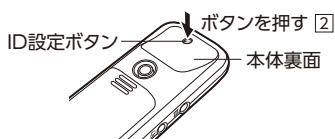


2~5台の本体でご利用になる場合

本製品が複数ある場合、1台の受信器に対して2~5台の本体を交互に操作することが可能です。受信器1台と本体を複数台用意し、上記ID設定①、②の手順を1台ずつ行ってください。

※本体を元のペア受信器でご使用になる時は、再度ID設定を行ってください。

※複数台を同時に操作できません。



ポインター設定保存

ポインターの出現位置(画面中央)の設定と、設定モード(色・形状・サイズ・指示線)の保存ができます。

【Windows Vista/7/8/8.1/10の場合】

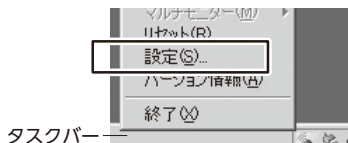
- 1 タスクバーのAIR BEAMアイコンを右クリックしてメニューから「設定」を選びます。

チェックを入れると、ポインターの操作後、未操作時間が認識時間を超えた時にポインターを画面中央に移動します。

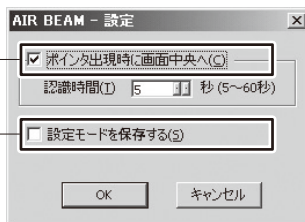
※初期設定(リセット時)では、チェック入、認識時間5秒に設定されています。

本体の設定モード(色・形状・サイズ・指示線)を受信器に保存します。

※初期設定(リセット時)では、チェックなしで色:黄緑、形状:丸(不透過)、サイズ:約42ピクセル、指示線:なしに設定されています。

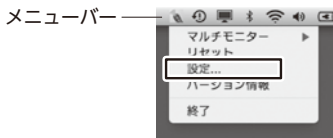


タスクバー



【Mac OS X(10.5以降の場合)】

- 1 メニューバーのAIR BEAMのアイコンから「設定」を選びます。
- 2 「設定モードを保存する」にチェックを入れます。



メニューバー



【設定モードの保存】機能を使用するには、ドライバのインストールが必要です。
ドライバのインストール・・・P12



ドライバのインストール

Macで[設定モードの保存]機能を使用するには、ドライバのインストールが必要です。

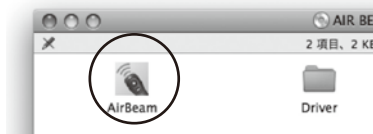
△注意

ドライバをインストールしなくても AIR BEAM を使用することはできますが、
[設定モードの保存]機能は使用できません。
[設定モードの保存]機能を使用するには、ドライバのインストールが必要です。

- 1 受信器をMacのUSBポートに接続します。
※ [キーボード設定アシスタント]が開く場合は、[キーボード設定アシスタント]を閉じてください。

- 2 [AirBeam]をダブルクリックします。

AIR BEAM Macドライバのインストール確認画面が表示されます。



- 3 [はい]をクリックします。

AIR BEAM Macドライバのインストール画面が表示されます。



- 4 [続ける]をクリックします。



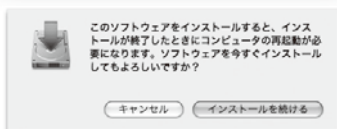
- 5 [インストール]をクリックします。



- 6 ログインパスワードを入力し、
[ソフトウェアをインストール]をクリックします。



- 7 再起動しても良いことを確認し、
[インストールを続ける]をクリックします。



- 8 インストールの完了画面が表示されたら、[再起動]をクリックします。

これでドライバのインストールは完了です。



お手入れのしかた



- お手入れをする時は、必ず電池を抜いてください。
- 受信器のお手入れをする時は、必ず受信器をパソコンのUSBポートから外してください。

- 日常のお手入れは、乾いたやわらかい布でから拭きしてください。
 - 汚れが著しい場合は、以下の手順で汚れを落としてください。
- 1 うすめた中性洗剤をつけた布を、かたく絞って拭いてください。
 - 2 水につけた布をよく絞って、洗剤が残らないように拭き取ってください。
 - 3 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取ってください。

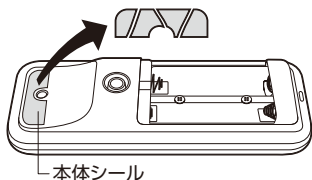
〈汚れを落とすときのご注意〉水にぬらしたり、化学ぞうきん、アルコールやシンナー系溶剤、酸・アルカリ性洗剤の使用は避けてください。変色や変形、故障の原因になります。

廃棄時の分別のしかた

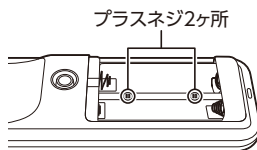
△注意

- 以下は本製品の廃棄分別のしかたとなりますので、分解後は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。
- 分別後の本体シール及び基板部品の再使用はできません。再使用すると法律にふれ、罰せられるおそれがあります。
- 分別作業は廃棄時のみ行ってください。(使用中には、絶対に行わないでください。)
- 分別作業中、及び作業後に本体を持ち運ぶ際には、安全面を配慮し、必ず、厚手の手袋(軍手など)をしてください。
- 分別作業中には、下の台をキズつけるおそれがありますので、厚紙などを下に敷いてください。

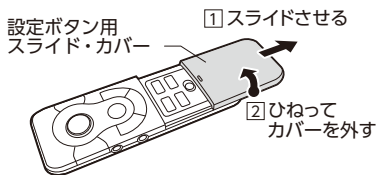
- ① 本体の電池カバーをスライドして外し、下図の本体シールをはがし、ハサミで裁断してください。



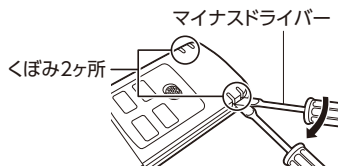
- ② 本体電池ボックス内のプラスネジ(2ヶ所)をプラスドライバーで外してください。



- ③ 設定ボタン用スライド・カバーをスライドして開け、ひねってカバーを外してください。

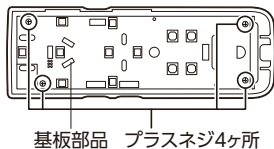


- ④ 本体後部のくぼみ(2ヶ所)にマイナスドライバーを差し込み、てこの要領で本体の上下ケースを外してください。

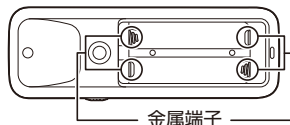


- ⑤ プラスネジ(4ヶ所)を外し、本体から基板部品や金属端子を外して分別してください。

下ケース・表



下ケース・裏



故障かな？と思ったら(不調診断)

こんなときは	こう処理してください	参照ページ
●すべての操作ができない。	電源がOFFになっていませんか。電源をONにしてください。	⑥
	電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	③
	電池の⊕(+)が逆になっていませんか。電池を正しくセットしてください。	③
	電池や電池ボックス部が汚れていませんか。汚れを拭きとり、電池をセットし直してください。	③
●パソコンに接続しても起動しない ●タスクバー(メニューバー)にアイコンが表示されない	<p>パソコンの設定でアプリケーションが起動しない場合があります。 〈Windows 8.1/10の場合〉 「PC」から「AIR BEAM」を選択して、その中の「AirBeam」をダブルクリックしてください。</p> <p>〈Windows 7/8場合〉 「コンピューター」から「AIR BEAM」を選択して、その中の「AirBeam」をダブルクリックしてください。</p> <p>〈Windows Vistaの場合〉 「コンピュータ」から「AIR BEAM」を選択して、その中の「AirBeam.exe」をダブルクリックしてください。</p> <p>〈Mac OS X(10.5以降)の場合〉 受信器を接続し、「AirBeam」をダブルクリックしてください。</p>	⑤
●ポインターが勝手に移動する。	机などに静置した状態で一度電源スイッチをOFFにし再度ONにしてください。その後、ポインター操作ボタンを押してください。(キャリブレーション設定)	⑥
●スライドショーのページが切り替わらない。	受信器が接続されていますか。接続してください。	⑤
	近くにディスプレイなど電波に干渉する機器や携帯電話など電波を発信する機器、金属板などの信号をさげぎるものはありませんか。電波障害物を移動するか、受信器と本体の距離を近づけてください。	②
	ソフトが対応していますか。確認してください。	③
	対応するパソコンの機種と必要装備の条件を満たしていますか。条件を確認してください。	③
	IDが正しく認識されていない可能性があります。ID設定を行ってください。	⑩
●マウス操作ができない。	対応するパソコンの機種と必要装備の条件を満たしていますか。条件を確認してください。	③
	近くにディスプレイなど電波に干渉する機器や携帯電話など電波を発信する機器、金属板などの信号をさげぎるものはありませんか。電波障害物を移動するか、受信器と本体の距離を近づけてください。	②
	IDが正しく認識されていない可能性があります。ID設定を行ってください。	⑩

仕様

本体

センサー方式	ジャイロ
周波数帯域	2.4GHz RF (ラジオ波)方式
ポイント色	10色
ポイント形状	11種類
ポイントサイズ	7~420ピクセル (13インチ画面で約1mm~約80mm)
指示線	左、右、中央の下部切替え
使用電池	単4形アルカリ乾電池2本
電池寿命	<アルカリ乾電池使用時> 連続使用約25時間 ※使用状況により異なる場合があります。
サイズ (mm)	横38×奥行き113×高さ20
質量	約63g(電池含む)
材質	本体:ABS、スライドカバー:PC/ABS

ストラップ

ひもの長さ	約290mm
質量	約3.5g
材質	樹脂部:POM、リング:スチール、ひも部:PP

受信器

コネクタ形状	USBコネクタ (A-TYPE)
インターフェース	USB Ver 1.1以上
受信可能距離	受信器の周囲 半径約15m ※使用環境により短くなる場合があります。
電源供給	USBを通じて供給
動作表示	青色LED内蔵
サイズ (mm)	横18×奥行き64×高さ8 ※突起部のみ 高さ10mm
質量	約7g
材質	PC

保管用ポーチ

サイズ (mm)	幅70×奥行き150×高さ6
質量	約14g
材質	布部:PE、 樹脂部:POM

コクヨ株式会社

お問い合わせ、ご相談はフリーダイヤル(全国共通)

お客様相談室 ☎0120-201-594

<http://www.kokuyo.co.jp/>